

簿記競技会採点内規（平成28年度新人戦より改定）

1 全般

(1)訂正について

- ア 訂正は、定規を使用し、赤の二本線を引くこと。フリーハンドによる訂正や一本線は不可とする。
- イ 数字の訂正は全数字を訂正し、文字の訂正は1文字のみの訂正でも構わない。
- ウ 訂正は、当該の解答欄内において訂正すること。
- エ 解答を訂正（赤の二本線による）したが、解答欄内に記入できないときは、枠外に解答してよい。ただし、問題番号を記入するか、枠外に矢印で引っ張り訂正するなど、いずれの問題の解答であるかがわかること。
- オ 以下の様な訂正は、誤答とする。
 - (ア)解答欄を間違えたとき、矢印によって解答欄を入れ替えて訂正すること。
 - (イ)解答欄を間違えたとき、問題番号を消して書き直すこと。

(2)文字、コンマ、書体について

- ア 誤字や漢字で書くべき勘定科目などをかなで解答した場合は、誤答とする。
- イ コンマと小数点の区切りが無いときは誤答とする。ただし、コンマと小数点の違いは厳密には問わない。なお、位取りのある解答欄の場合は、コンマは不要とする。
- ウ 書体については、基本的に楷書とするが、多少の続け字は可（正解）とする。ただし、判断が困難な書体については、審査委員長が審査委員会と合議の上決定する。
- エ なぞり字は、誤答とする。

(3)その他、判断しづらい解答については、審査委員長が審査委員会と合議の上判断する。

2 仕訳の問題

- (1)勘定科目については、指定されたものを使用すること。

3 帳簿の問題

- (1)採点基準の線上の罫線を定規で赤記していなければ、その解答は誤答とする。なお、罫線の採点箇所は1ヶ所見ることとする。罫線の採点箇所が、採点基準に設けられていない場合、あるいは多数設けられている場合は、審査委員会で1ヶ所を決める。
- (2)仕入帳、売上帳の返品、値引きは赤で記入すること。ただし、元丁欄は黒でも赤でもよい。
- (3)普通仕訳帳の仕訳の勘定科目は、（ ）で括らなければ、誤答とする。
- (4)「//」は、日付と借または貸の欄、@、¥、個を認め、他は一切認めない。
- (5)普通仕訳帳、特殊仕訳帳、総勘定元帳への記入は、日付が前後してもよい。

4 決算の問題

(1) 当期純利益、売上総利益などは赤で書かなくても正解とする。

(参考) 次のような訂正は、誤答（不正解）となります。

矢印で解答欄を入れ替える。

| | 借方 | 貸方 |
|--------|--|--------------------------|
| 1 | 現金 100,000 | 売上 100,000 |
| 2 | 買掛金 200,000 | 当座預金 200,000 |
| 4 ③ | 仕入 210,000 | 買掛金 200,000 現金 10,000 |
| 4 | 現金 70,000 備品減価償却累計額 400,000 固定資産売却損 30,000 | 備品 500,000 |

問題番号を訂正する。

解答欄全体を“×”と大きく消去すること。
※記入できないときは、枠外へ解答してよいが、二本線で訂正していない。

4 備品減価償却累計額 400,000 / 備品 500,000
固定資産売却損 170,000 / 現金 70,000

問題番号を訂正する。
【6】 ←
~~【5】~~

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| ¥ 10,000 | ¥ 20,000 | ¥ 30,000 | ¥ 40,000 | ¥ 50,000 |

| 勘定科目 | 残高試算表 | | 整理記入 | | 損益計算書 | | 貸借対照表 | |
|------|-------|----|------|----|-------|----|-------|----|
| | 借方 | 貸方 | 借方 | 貸方 | 借方 | 貸方 | 借方 | 貸方 |
| 現金 | 100 | | 50 | | | | 150 | |
| 当座預金 | 300 | | | 50 | | | 250 | |
| 受取手形 | 50 | | | | | | 50 | |

矢印で解答欄を入れ替える。